

### ディスクカードを書き換えたキミのための じょうずなシールのはりかた

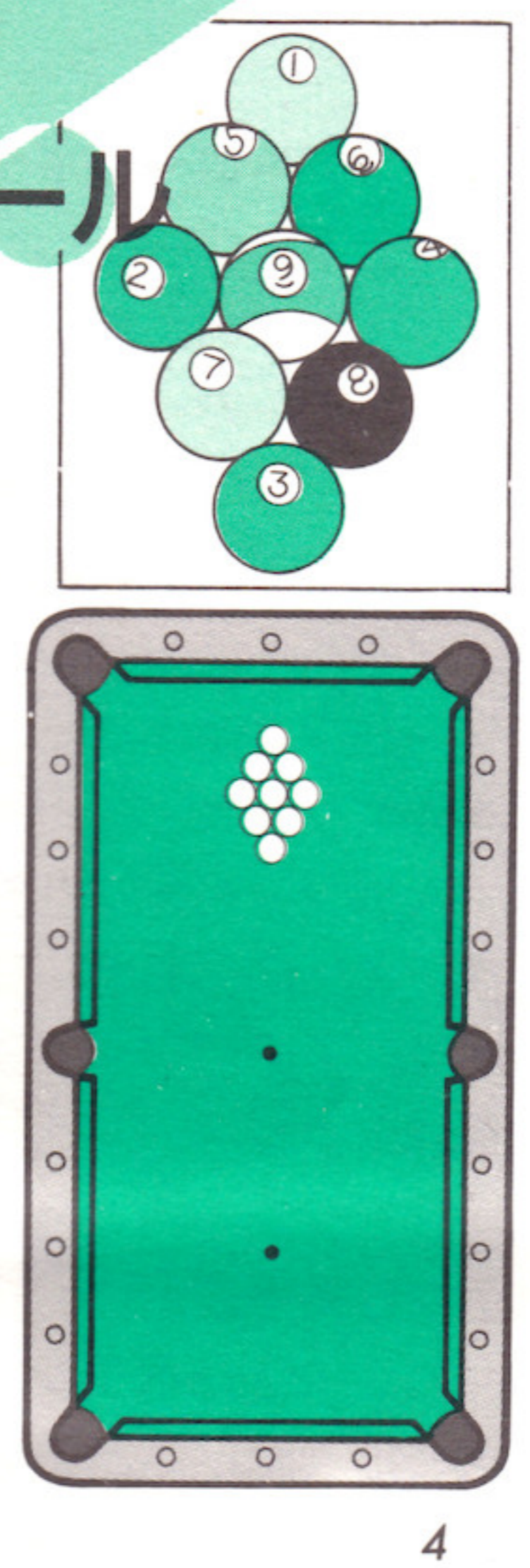
- 同封のディスクカード用の四角いシールを1枚、きれいはがします。
  - SIDE AとSIDE Bをよく確かめて、決められた位置に、隅をきちんとあわせてはります。
  - もう1枚のシールも同じようにきれいにすれば、完成です。
  - シールの四隅をもう一度軽く押さえたらOK。サア、キミもやってみよう!
- シールをディスクカードに貼る場合は指定位置へ正しく貼ってください。(誤った位置に貼ったり、重ね貼りをすると故障の原因となります。)

### ビリヤードのルール ナインボール

1個の手球と①から⑨までのボールを使用する。①から⑨までのボールを順番にポケットに落としていき、最後に⑩のボールを落としたほうが勝ちになる。

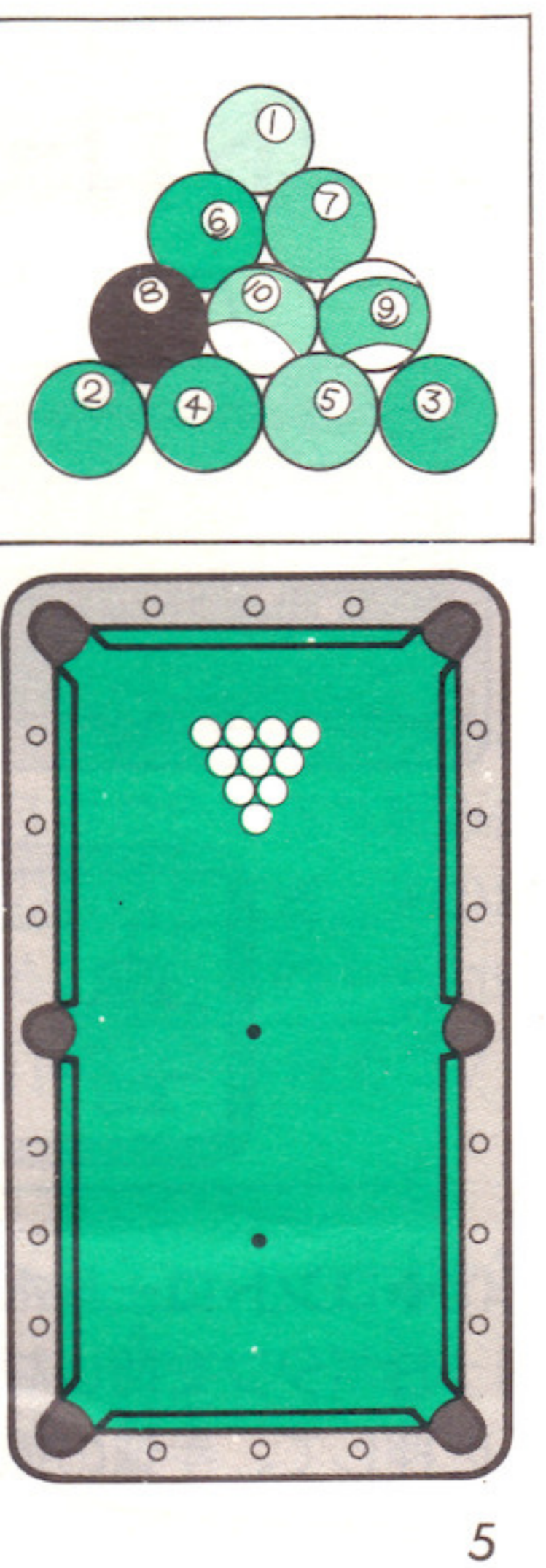
だが、このゲームは早く⑩のボールをポケットに落とすことが目的なので、ゲームの途中で⑩のボールが合法的(ファウルになる条件がない場合)にポケットに落ちた場合も有効だよ。

プレイヤーの交代は、後で説明するファウル・プレーのあった時におこなわれる。



### ローテーション

1個の手球と①から⑩までの的球を使用して、最小番号のボールから、順番にポケットに落としていくゲーム。(ただし、実際のビリヤードでは①から⑩までの的球を使用して、ゲームを進めていくのだ) また、ファウル・プレーでなければ、ほかのボールをポケットに落としてもかまわない。このゲームは得点の大きいほうが勝ちとなり、落としたボールの番号の合計がそのままプレイヤーの得点になるんだ。また、プレイヤーの交代は、ファウル・プレーの時に起こされる。

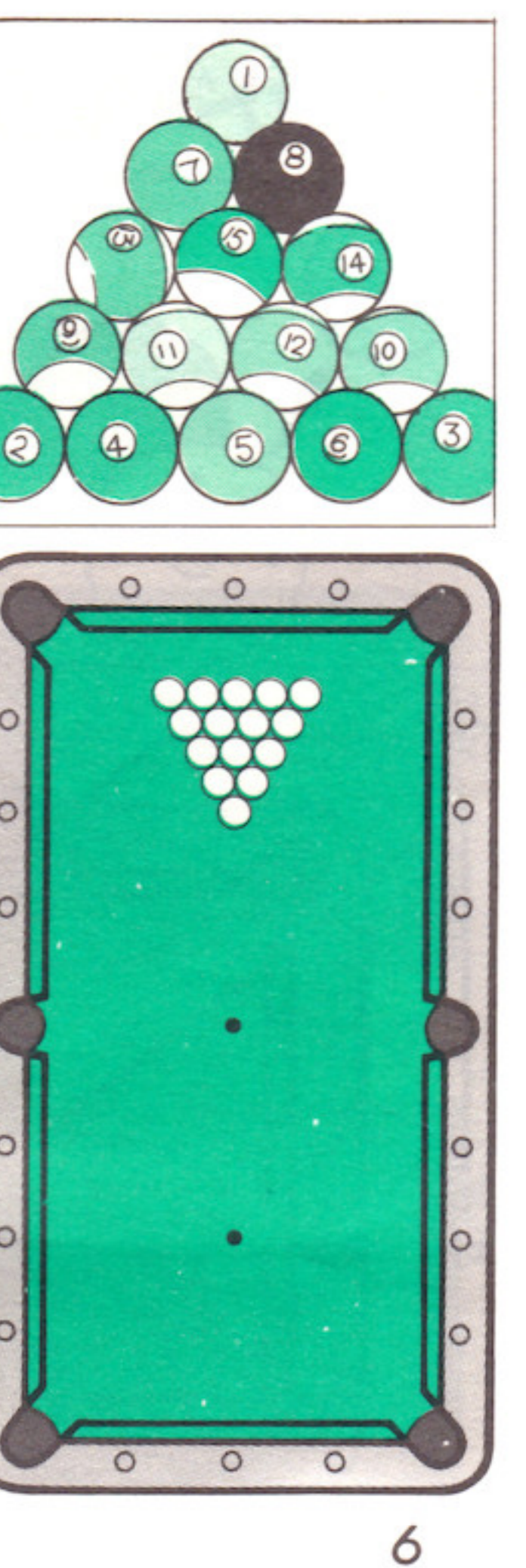


### ラックゲーム

ローテーション・ゲームよりもボールが増えて、手球と①から⑩までの的球を使用する。的球の指定はなく、落とす順番も関係がないので、はじめにどのボールをねらって、ポケットに落としていってもかまわない。

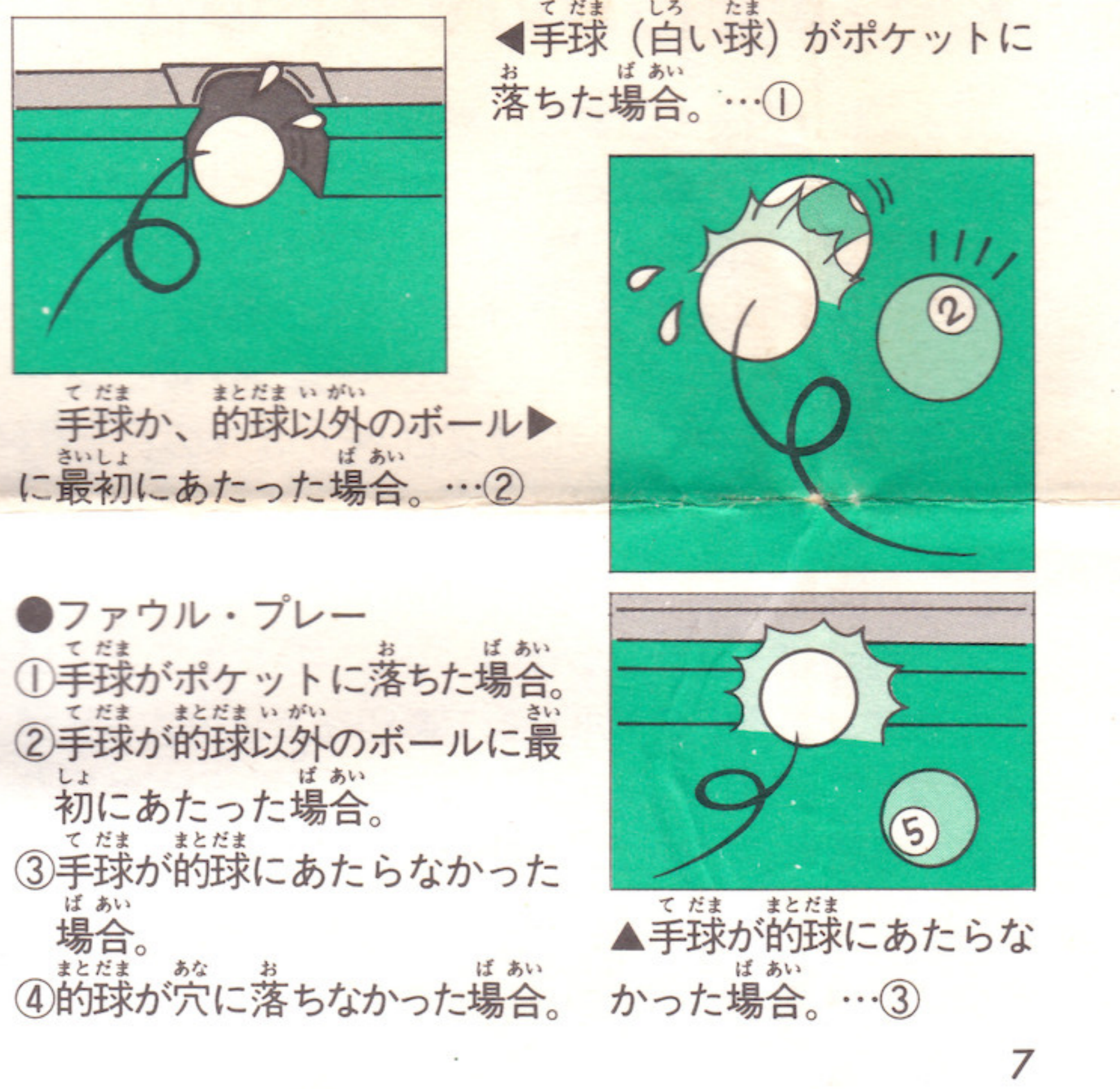
ローテーションとちがって、ゲームの勝敗は、ボールの合計得点ではなく、ポケットに落としたボールの数で決まるんだ。

つまり、より多くの的球をポケットに落としたほうが勝ちだ。プレイヤーの交代は、ファウル・プレーの時に起こされる。



### ファウル・プレー

- ファウル・プレー
- ①手球がポケットに落ちた場合。…①
  - ②手球が的球以外のボールに最初に当たった場合。…②
  - ③手球が的球にあたらなかった場合。…③
  - ④的球が穴に落ちなかった場合。…④



### ゲームをはじめるには、 前準備が必要なんだ!

ファミリーコンピュータ本体とRAMアダプタ、ディスクドライブを正しく接続して、本体のPOWERをONにしよう。きちんと接続していれば、マリオとルイージが追いかけっこをする画面が出てくるので、ディスクカードのSIDE Aを上にしてセットする。とくに、裏表には注意しよう。

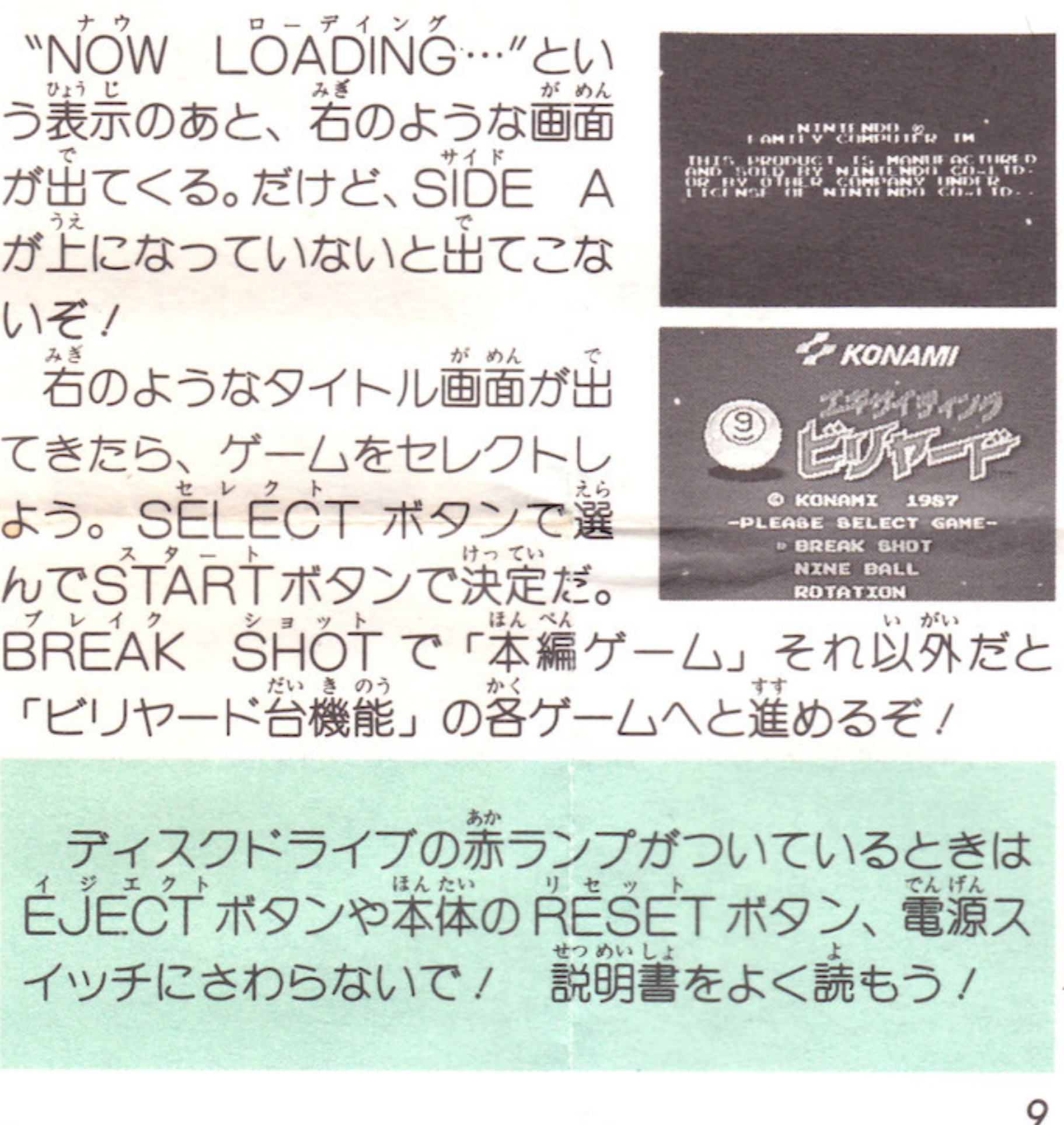
画面がちゃんと出ないときは、もう一度、最初から接続を確かめ、きちんとディスクカードをセットしておきましょう。



「NOW LOADING...」という表示のあと、右のような画面が出てくる。だけど、SIDE Aが上になっていないと出てこないぞ!

右のようなタイトル画面が出てきたら、ゲームをセレクトしよう。SELECTボタンで選んでSTARTボタンで決定だ。BREAK SHOTで「本編ゲーム」それ以外だと「ビリヤード台機能」の各ゲームへと進めるぞ!

ディスクドライブの赤ランプがついているときはEJECTボタンや本体のRESETボタン、電源スイッチにさわらないで! 説明書をよく読もう!



### ストーリー

アメリカ、イリノイ州のイーストバレーにある『ブルー・サンセット』は、ビリヤード好きの若者でにぎわっていた。そして、かれらはビリヤードを職業とする人間=「ハスラー」にあこがれていた。

自動車工のポニー・レノックスは「サンセット」でNO.1のプレイヤーだ。ある日、いつものようにポニーが仲間とプレイしていると、見えない男が観戦しているのに気づいた。男のしゃれた身なりと鋭い目は、このへんのごろつきのものではなかった。ポニーは興味を持った。

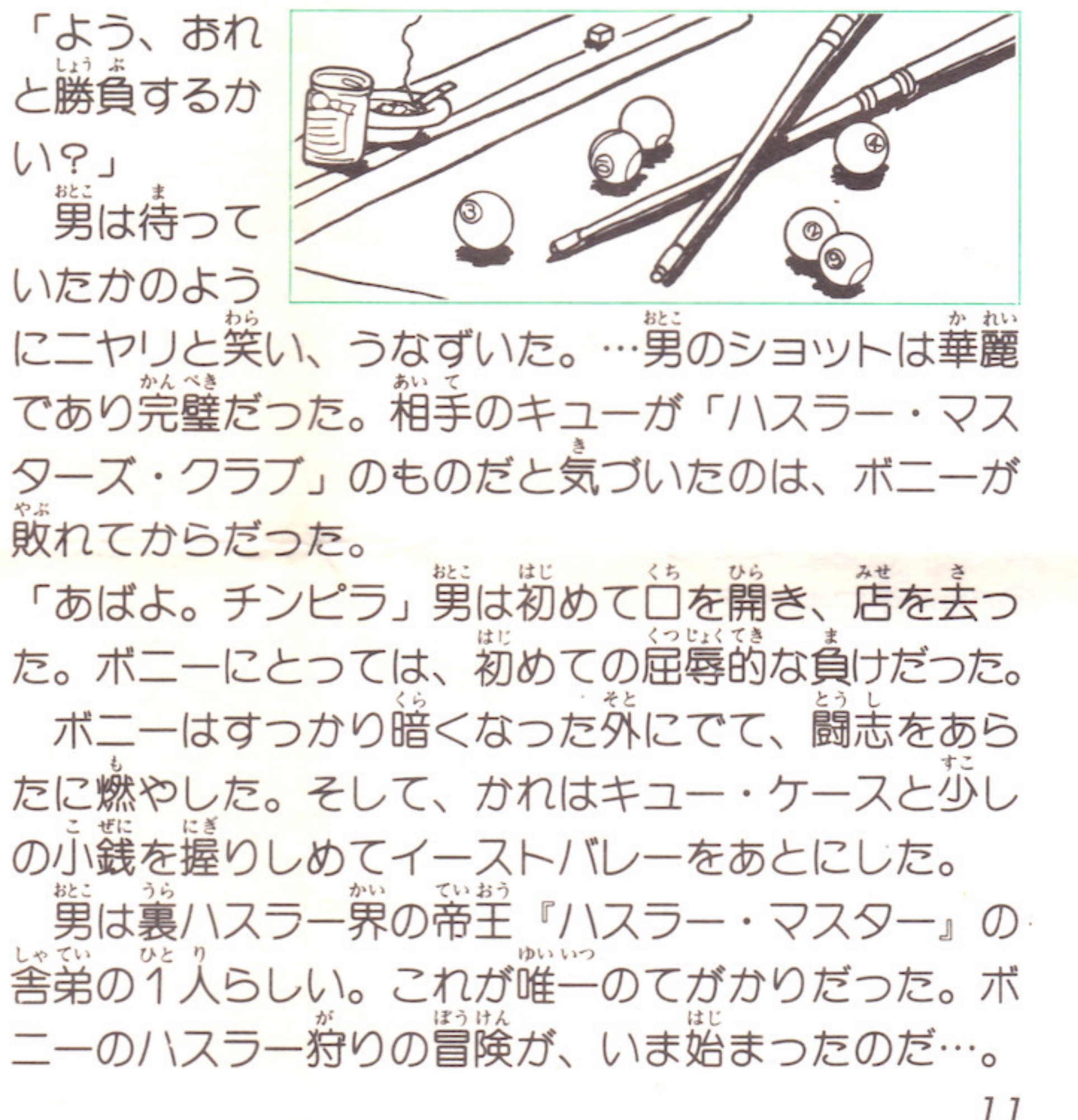


「よう、おれと勝負するかい?」

男は待っていたかのようにニヤリと笑い、うなずいた。…男のショットは華麗であり完璧だった。相手のキューが「ハスラー・マスターズ・クラブ」のものだと気づいたのは、ポニーが敗れてからだだった。

「あばよ。チンピラ」男は初めて口を開き、店を去った。ポニーにとっては、初めての屈辱的な負けだった。ポニーはすっかり暗くなった外にでて、闘志をあらたに燃やした。そして、かれはキュー・ケースと少しの小銭を握りしめてイーストバレーをあとにした。

男は裏ハスラー界の帝王『ハスラー・マスター』の舎弟の1人らしい。これが唯一のてがかりだった。ポニーのハスラー狩りの冒険が、いま始まったのだ…。

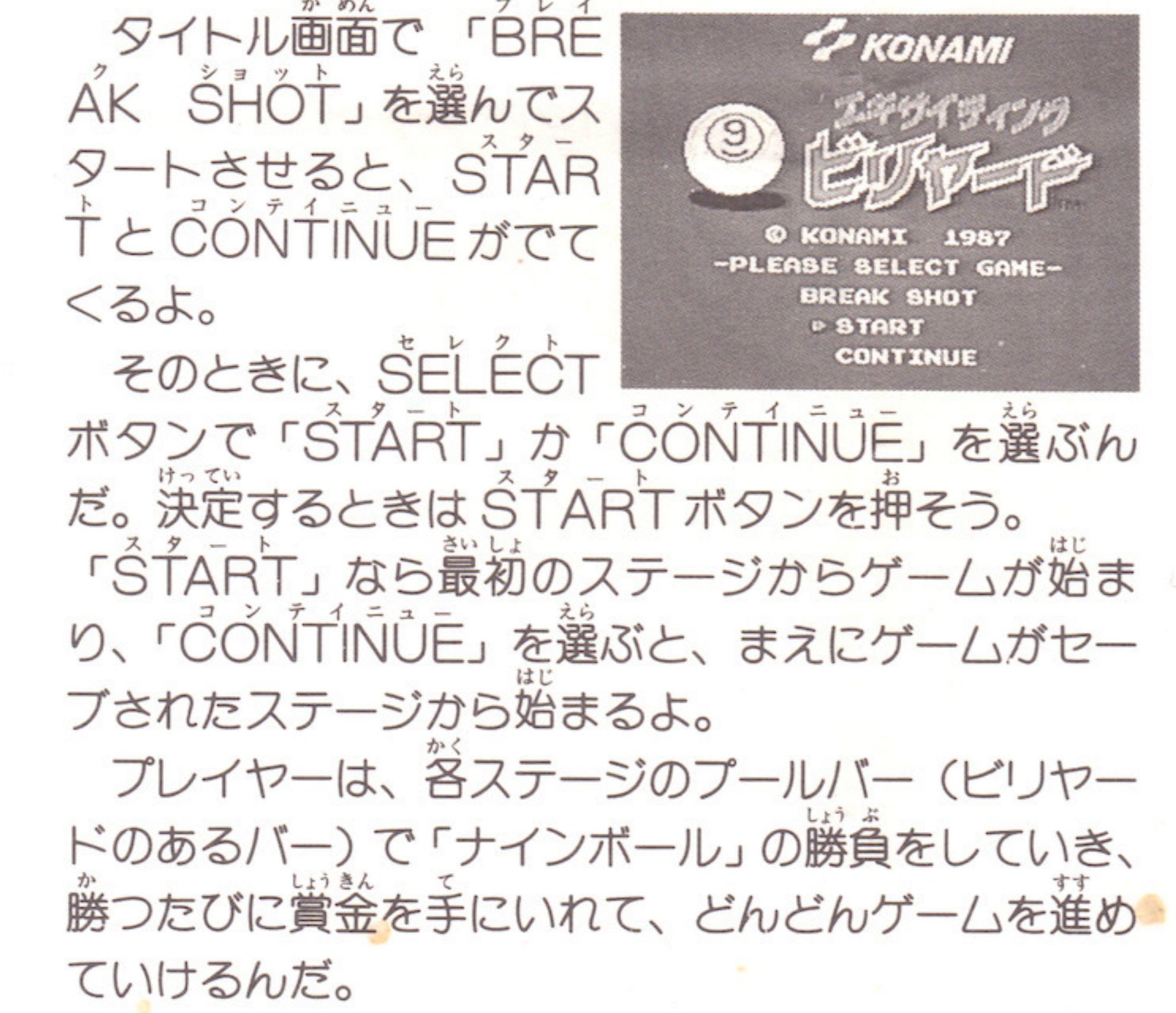


### さあ、ゲームスタートだ!

タイトル画面で「BREAK SHOT」を選んでスタートさせると、STARTとCONTINUEがでてくるよ。

そのときに、SELECTボタンで「START」か「CONTINUE」を選ぶんだ。決定するときはSTARTボタンを押そう。「START」なら最初のステージからゲームが始まり、「CONTINUE」を選ぶと、まえにゲームがセーブされたステージから始まるよ。

プレイヤーは、各ステージのプールバー(ビリヤードのあるバー)で「ナインボール」の勝負をしていき、勝つたびに賞金を手にいれて、どんどんゲームを進めていけるんだ。



### ステージ構成

プレイヤーの目的はハスラー界のNO.1になることだ。勝負の場所は下の7ヶ所。勝負に勝ち、次のステージにいってお金があれば「WIN」負けるか、勝ってもお金がたりないときは「LOSE」お金が0の時はGAME OVERだ。

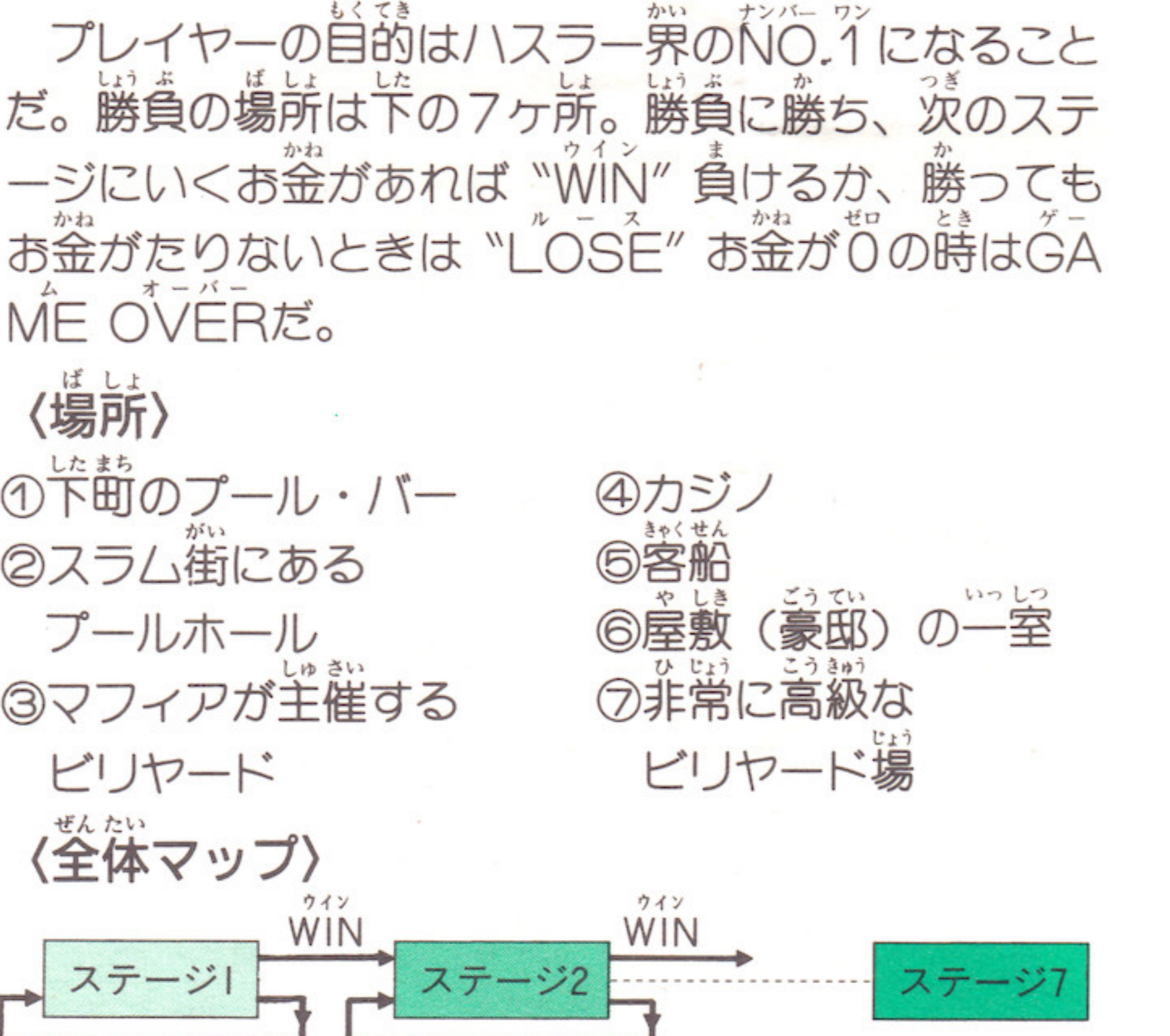
〈場所〉

- ①下町のプール・バー
- ②スラム街にあるプールホール
- ③マフィアが主催するビリヤード
- ④カジノ
- ⑤客船
- ⑥屋敷(豪邸)の一室
- ⑦非常に高級なビリヤード場

〈全体マップ〉

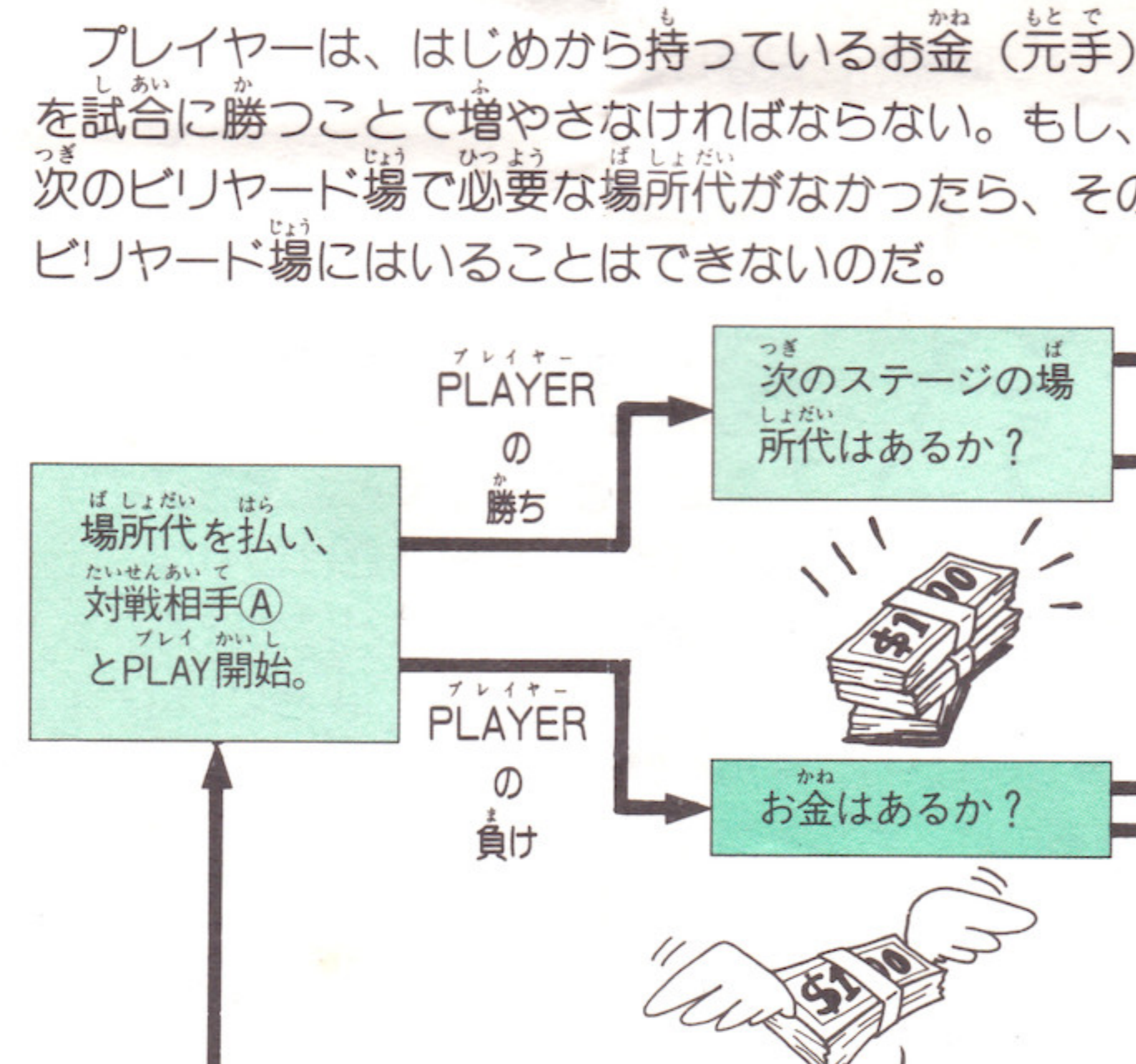
ステージ1 → WIN → ステージ2 → WIN → ステージ3

LOSE → ステージ1 → LOSE



### ゲームの進め方

プレイヤーは、はじめから持っているお金(元手)を試合に勝つことで増やさなければならない。もし、次のビリヤード場で必要な場所代がなかったら、そのビリヤード場にはいることはできないのだ。

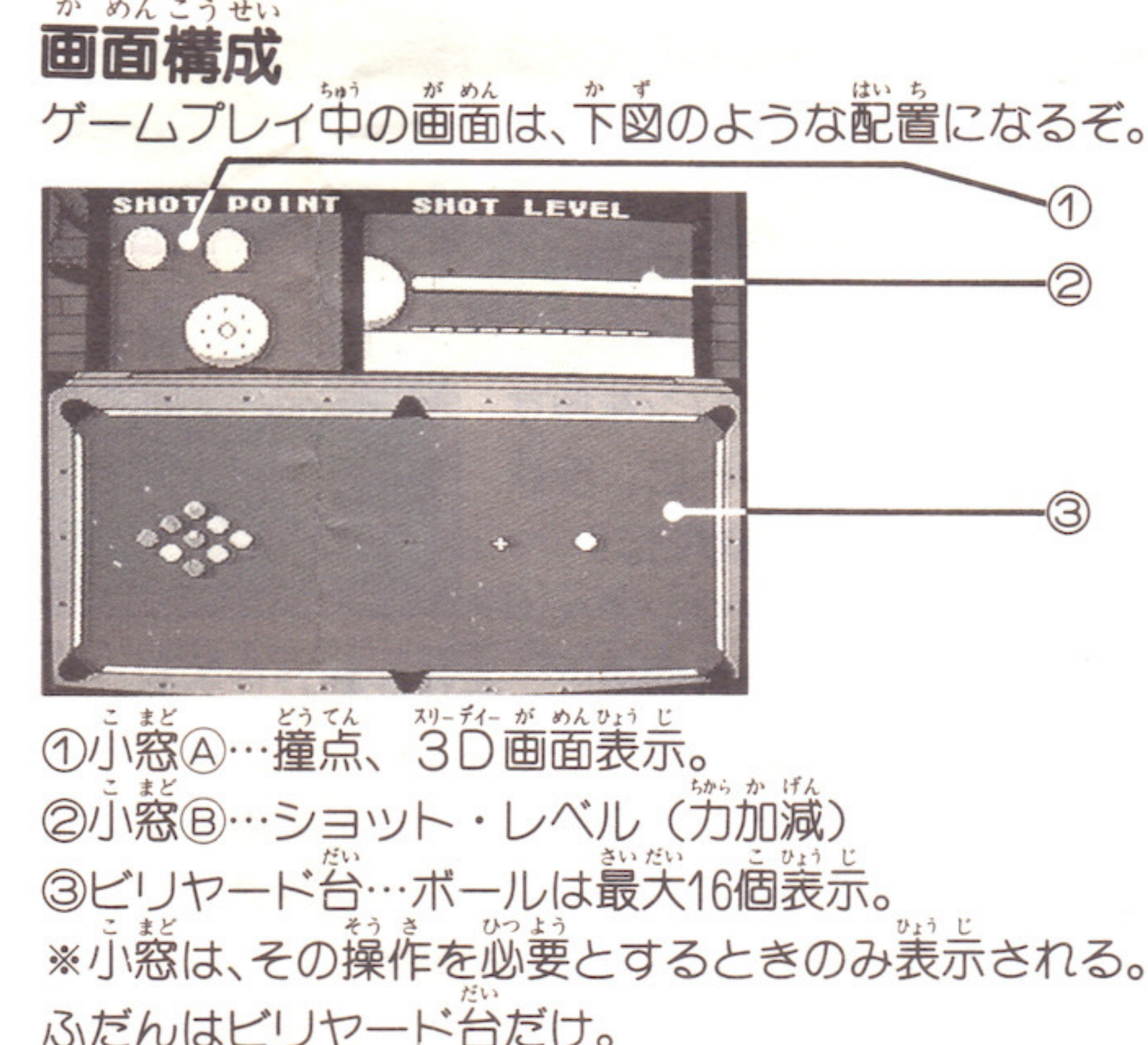


### ゲーム画面の見方

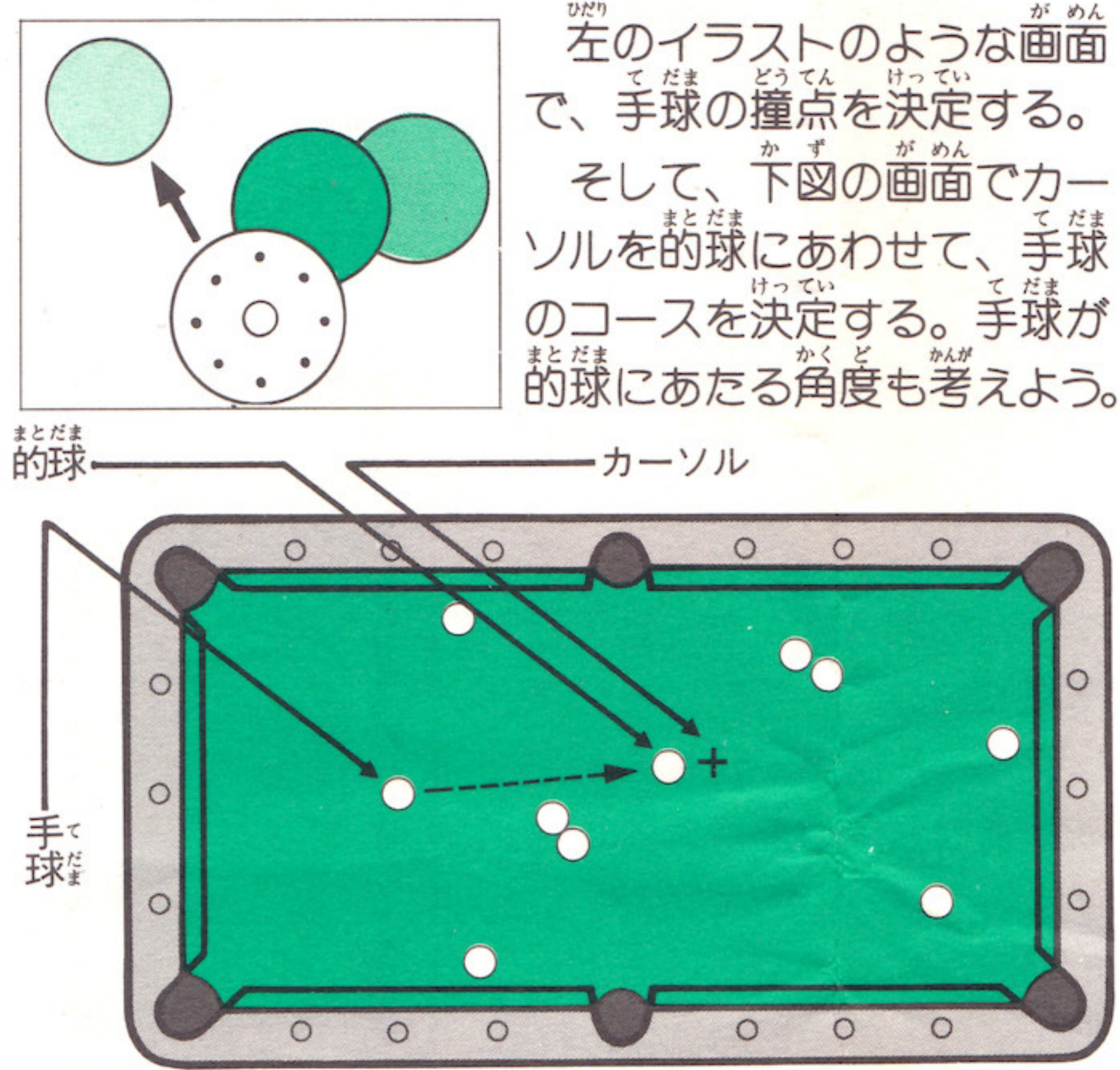
ゲームプレイ中の画面は、下図のような配置になるぞ。

- ①小窓A…撞点、3D画面表示。
- ②小窓B…ショット・レベル(力加減)
- ③ビリヤード台…ボールは最大16個表示。

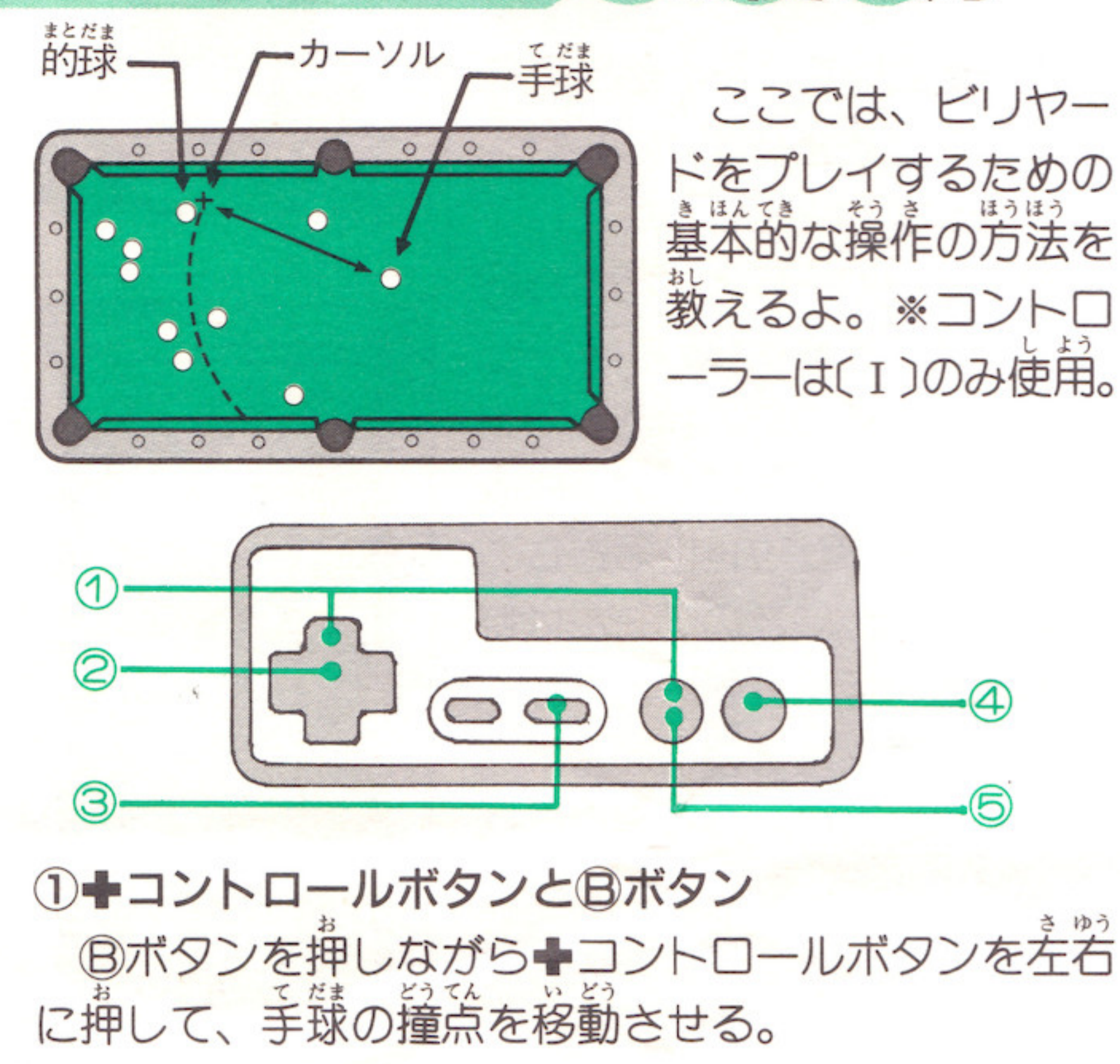
※小窓は、その操作を必要とするときのみ表示される。ふだんはビリヤード台だけ。



## ウィンドーの見方



## コントローラーの使い方



## ②+コントロールボタン

- 上下...テーブル上の照準カーソルと手球(白球)の距離をかえる。
- 左右...カーソルの方向をかえる。手球(白球)を中心に左まわり、右まわりで回転する。

## ③STARTボタン

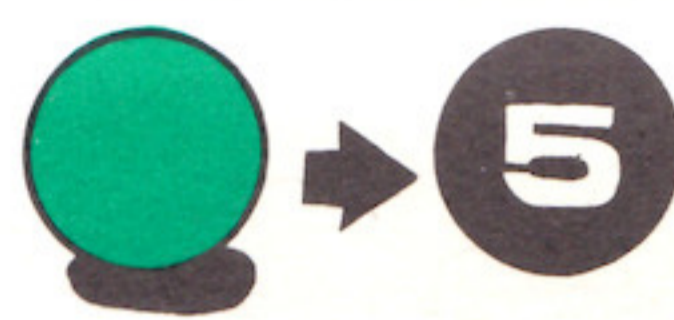
ゲーム、スタート。また、ビリヤード台機能時のみゲーム中に使用するとサブ画面と切りかわる。

## ④Aボタン

Aボタンを押すとショット/パワーメーターが動きだす。さらに、もう一度Aボタンを押すとメーターがとまり、そのパワーでショットを開始する。

## ⑤Bボタン

Bボタンを押すと、ボール表示から番号表示に切りかわる。もう一度Bボタンを押すと、ボール表示にもどる。



## 名前登録の仕方

### ビリヤード台機能編

このビリヤード台機能編では、1人から4人までのあいだで「ナインボール」「ローテーション」「ラックゲーム」の合計3種類のゲームを、本格的なビリヤードとして楽しむことができるぞ。

対戦相手もあなたに登録する4人に加え、すでに登録されている10人(CPU)のなかから好きな組みあわせができる。また、CPUだけの対戦もでき、その場合は観客としてゲームを楽しめる。CPU同士の対戦を解除する時は、本体のRESETボタンを押そう!

### ●名前の登録

①タイトル画面で「NINE BALL」「LOTATION」「RACK GAME」を選べは、ビリヤード台として遊べるぞ。

③3つのゲームのうち、1つを選んでSTARTボタンを押すと、右のモードセレクト画面ができる。SELECTボタンで、「トウロク」に●印をあわせて、STARTボタンを押そう。

④SELECTボタンで登録すると、ここに●印をあわせて、STARTボタンで文字に●印をあわせる。④入力したい文字を+コントロールボタンであわせて、Aボタンで入力(文字を決定)する。文字の取り消しはBボタンでできるぞ。

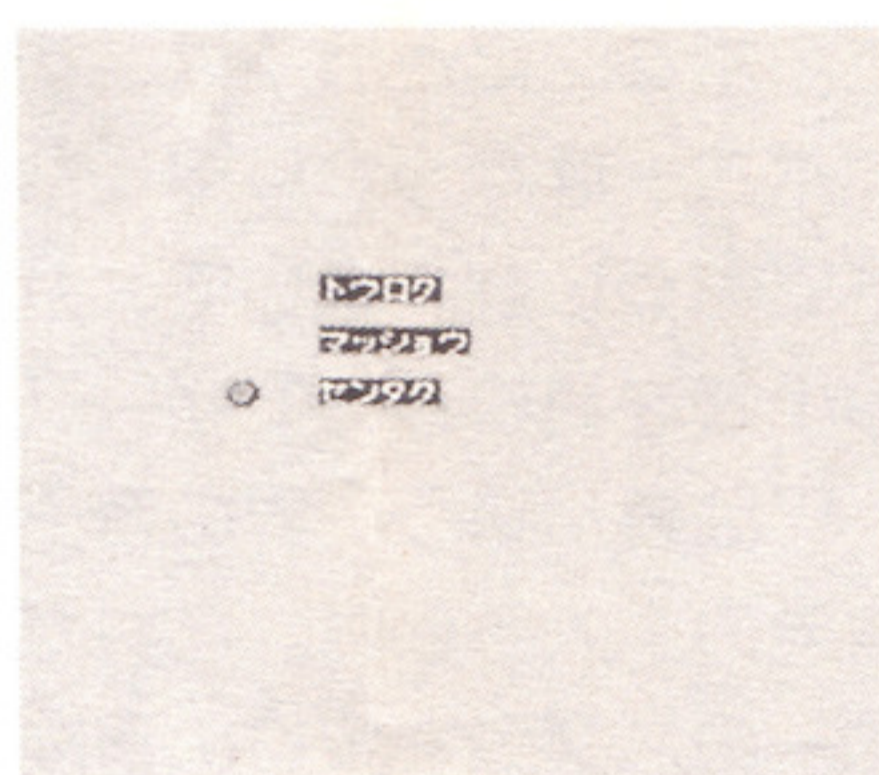


⑥文字の入力は10文字までできるよ。10文字入力したあとに、Aボタンを押すと、あいている番号に●印がうつる。9文字以内で名前の記入をやめたいときは、SELECTボタンを押すことで、やめることができるぞ。

⑥名前の登録がかわったら、SELECTボタンで●印を「オワリ」にあわせて、STARTボタンを押せば、①の画面にもどる。

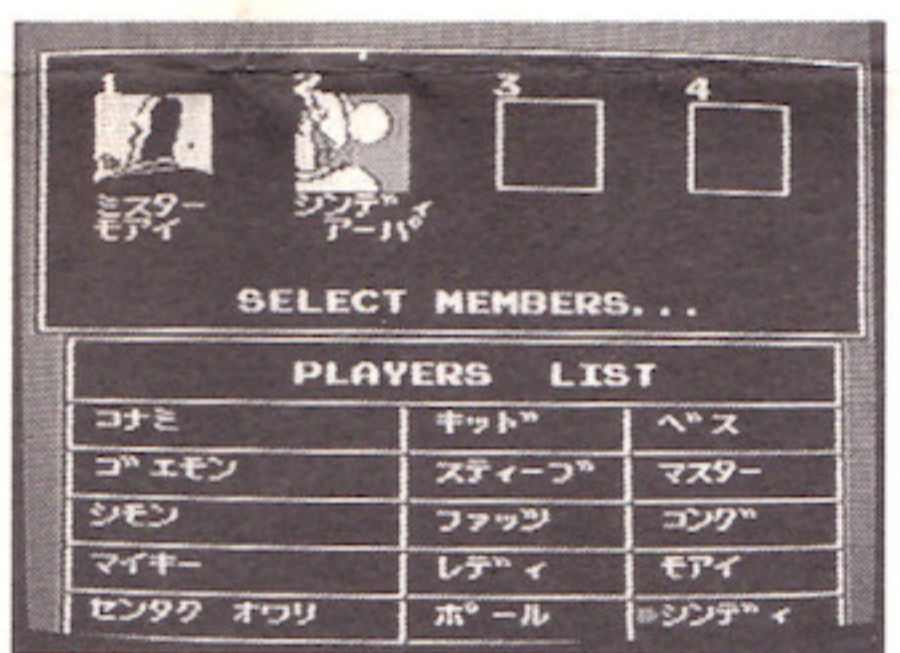
⑦次に、●印をSELECTボタンで「センタク」にあわせてSTARTボタンを押そう。

すると、プレイヤー選択画面がでてくるよ。

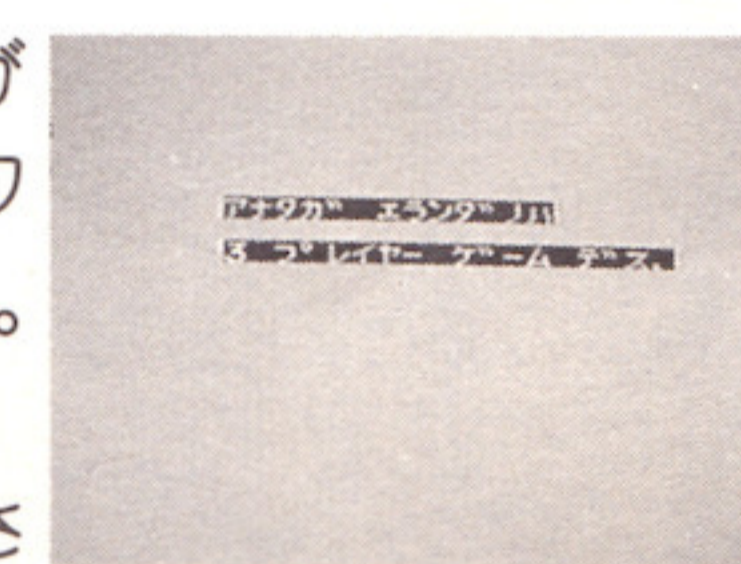


⑧プレイヤー選択画面では、名前を登録したプレイヤーと、すでに登録されている10人(CPU・コンピュータ)の中から、好きなプレイヤーや対戦相手を選べるぞ。ただし、一度に遊べる人数は1人から4人までだよ。

⑨プレイヤーの組みあわせを決めるには、ゲームをしたいプレイヤーの名前に+コントロールボタンで●印をあわせて、Aボタンで入力する。1から4までの番号に名前を入力できるぞ。プレイする順番は、名前を入力した順番だ。もし、とりけしたい場合はBボタンを押す。



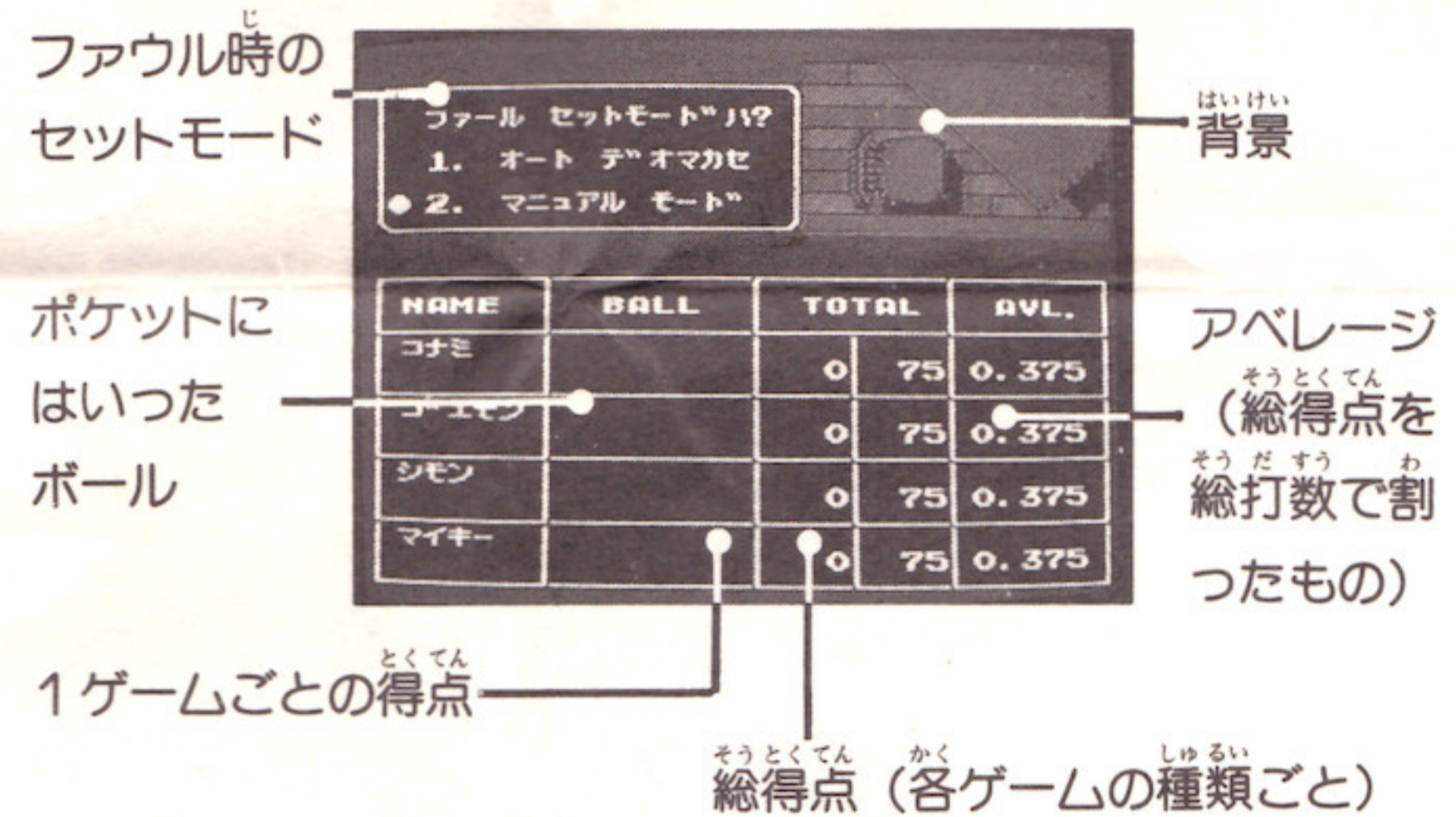
⑩プレイするメンバーの選択がすんだら、●印を「センタクオワリ」にあわせてAボタンを押すと、右の画面になって、なん人でプレイするかが表示されるぞ。そのあと、つづいてゲームがスタートするよ。



●名前の抹消  
モードセレクト画面の時、SELECTボタンで●印を「マッシュウ」にあわせ、STARTボタンを押す。次にSELECTボタンで消したい名前に●印をあわせてSTARTボタンを押せば、消すことができるよ。名前を消しおえたら、SELECTボタンで●印を、「オワリ」にあわせてSTARTボタンを押すと、モードセレクト画面にもどるんだ。

## サブ画面の見方

ゲームプレイ中にSTARTボタンを押すとサブ画面に変わり、各プレイヤーのスコアを見れる。もう一度STARTボタンを押せばゲーム画面にもどる。



名前の登録を抹消すれば、そのプレイヤーのスコアも消すことができる。

## ファウル時の球のセットの仕方

相手プレイヤーがファウルをした場合に、次のプレイヤーは、手球を動かさずに、相手プレイヤーがショットをした状態のままに置くことができる。また、手球をヘッド・エリア内に動かして、その範囲内で置く(マニュアル・モード)こともできる。さらに、オートにすれば、ファウル時に手球は、そのままの状態か、あるいは自動的にヘッド・スポットに置かれるよ。

サブ画面で「ファウルセットモードハ？」の出ているときに、SELECTボタンで●印を「1・オートデオマカセ」か「2・マニュアル・モード」のどちらかにあわせると、あわせてモードでゲームが進行するぞ。

オートデオマカセ...ファウルをすると、手球は、そのままの状態か、自動的にヘッド・スポットにセットされる。

マニュアル・モード...ファウルになると、手球が点滅する。

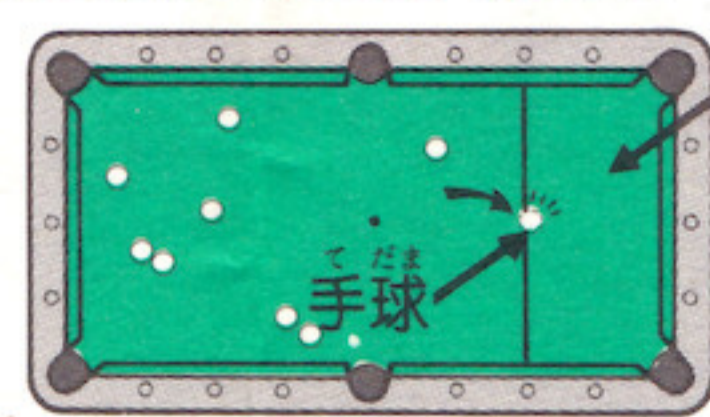
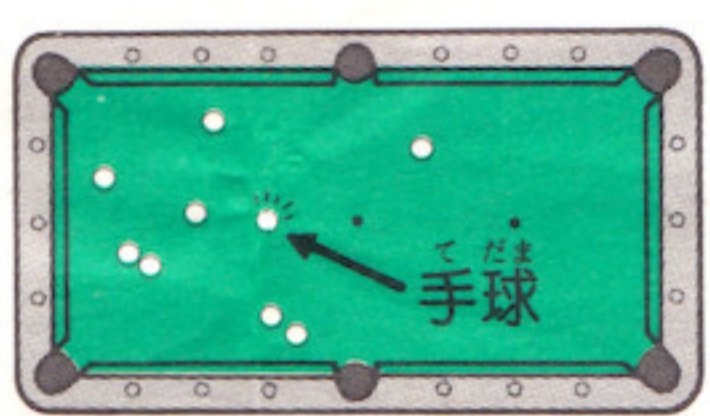
●手球を、テーブル上の止まっているところのままで撞きたい場合、Aボタンを押すと点滅がなくなり、普通に撞けるよ。

●ヘッド・エリア内で自由に手球を動かしたい場合、①+コントロールボタンを押すと、ヘッド・スポットに、手球が点滅したまま移動する。

②+コントロールボタンでヘッド・エリア内の好きな場所に、手球を動かせるぞ。

③場所が決まったらAボタンで決定。手球のすぐ近くに別のボールがあると決定されず、手球は点滅をしつづけるので、少しはなれたところに手球を置こう。

④手球がポケットに落ちると、自動的にヘッド・スポットに置かれるよ。あとは、おなじように操作しよう。

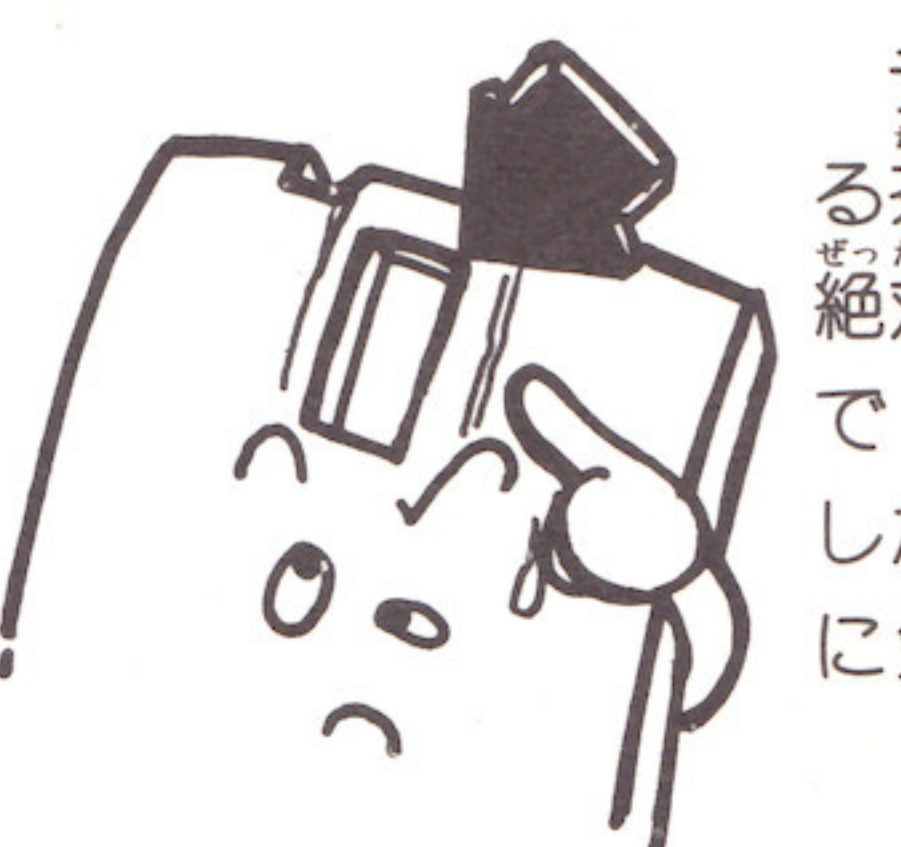


## これだけは覚えておいてほしい 注意事項

ディスクカードはカセットよりもデリケート。注意事項を守ってやらないと、こわれちゃうぞ。

## ディスクカードは大切に取扱おう

ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルム部分には、絶対に指などで、直接触れないで! それから、その部分を汚したり、傷つけたりしないように気をつけよう!

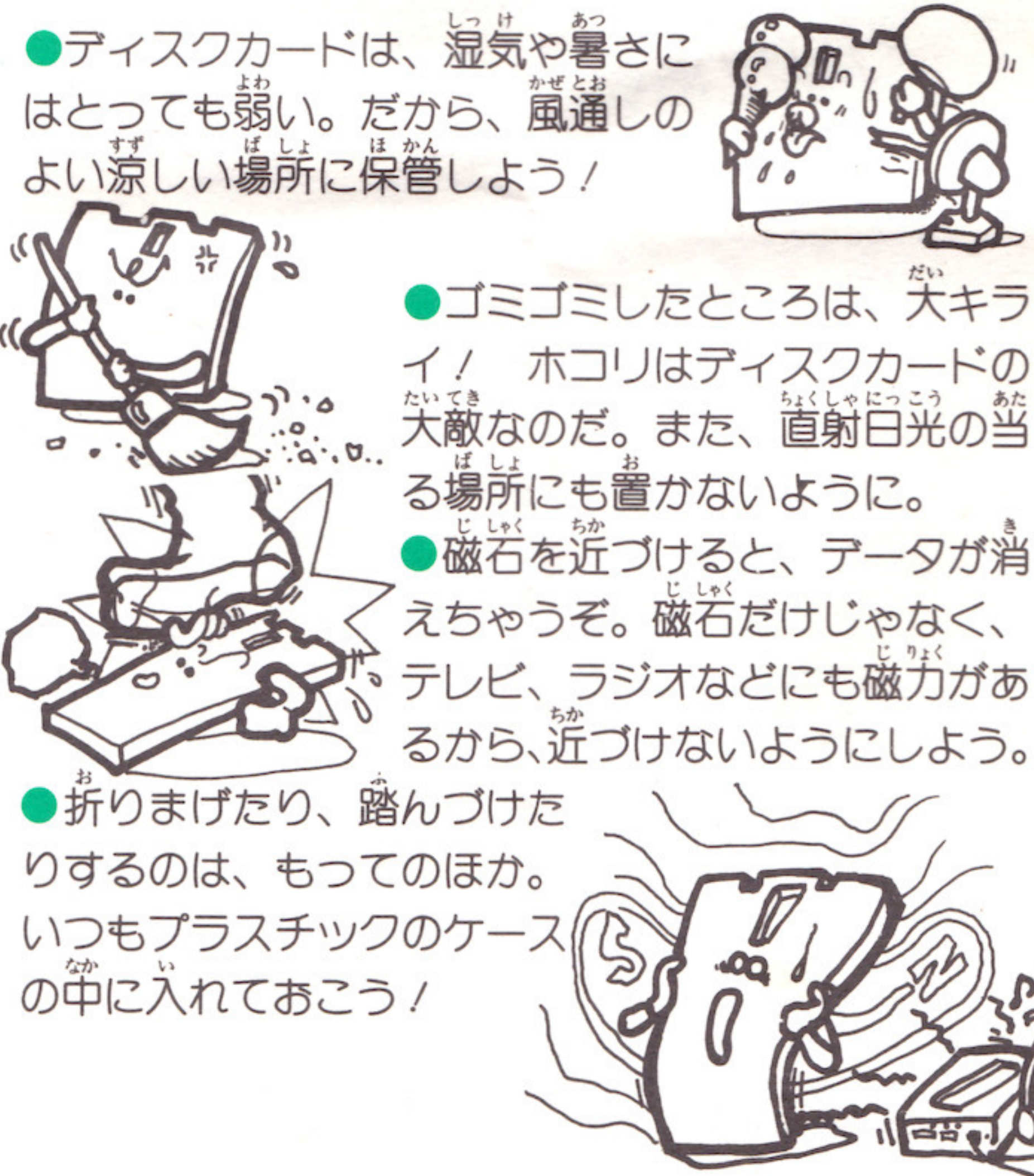


●ディスクカードは、湿気や暑さにはとっても弱い。だから、風通しのよい涼しい場所に保管しよう!

●ゴミゴミしたところは、大キライ! ホコリはディスクカードの大敵なのだ。また、直射日光の当たる場所にも置かないように。

●磁石を近づけると、データが消えちゃうぞ。磁石だけでなく、テレビ、ラジオなどにも磁力があるから、近づけないようにしましょう。

●折りまげたり、踏んづけたりするの、もってのほか。いつもプラスチックのケースの中に入れておこう!



## ディスクシステムが正常に作動しなくなったときには

ディスクシステムが正常に作動しないときには、画面に異状を知らせるエラーメッセージが表示されるよ。キミのディスクシステムでエラーが出たら、下の表を参考にして原因を調べよう!

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードがちゃんとセットされていない。カードを取り出し、もう1度セットしなおそう。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下になっている。乾電池を新しいものと交換しよう。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れている。ほかのカードを使うか、ツメのところにテープをはる。
ERR.04	違ったメーカーのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめよう。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクカードがセットされている。カードのゲーム名を確かめよう。
ERR.06	違ったバージョンのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめよう。
A,B SIDE ERR.07	ディスクカードの裏と裏が逆でセットされている。
ERR.08	違った順番のディスクカードがセットされている。カードをセットする順番を確かめよう。
ERR.20~	上の方法で処理できないときは、ディスクカードを買ったお店か、発売元へ相談しよう。

このたびはコナミの「エキサイティングビリヤード」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。なお、ゲーム内容などについての電話でのお問い合わせには、一切お答えできませんので、ご了承ください。



1987年6月26日初版  
発行 コナミ株式会社  
〒101 東京都千代田区神田神保町3丁目25 TEL.03-264-5678(代)  
〒561 大阪府豊中市庄内宝町1丁目1-5 TEL.06-334-0335(代)  
〒810 福岡市中央区天神2丁目8-30 TEL.092-715-2367(代)  
〒060 札幌市中央区北1条西5丁目2-9 TEL.011-232-3778(代)  
編集 コスカ出版株式会社  
〒113 東京都文京区本郷5丁目25-16 TEL.03-818-8301(代)

●新製品情報はTEL.03(262)9110(東日本地区)、06(334)0399(西日本地区)、011(851)3000(北海道地区)

© KONAMI 1987 禁無断転載